



今回は1年生 SGH 活動年間を通しての振り返りについてお伝えします。

◇ H29年度 SGH活動を通して私の学んだこと

平成30年2月27日(火)の7時間目には、各クラス個人で、この1年間のSGH活動について振り返る時間を持ちました。以下、生徒の学びに関するコメントです。

活動をする中で、何が一番大変でしたか？

- 初めてのメンバーで、意見を出しあって案を作るのが大変でした。なかなか案が出なかったり、自分だけで進めてしまって、ちゃんとみんなの意見が聞けなかったり、反省が多かったです。
- インバウンドで外国人観光客を、この中濃地区に呼ぶための具体的な案を出すことです。中濃地域に来る外国人観光客が少ない原因は、話し合いの中でたくさん出てきても、テーマがどれも抽象的で大変でした。
- 実際に郡上踊りに行って、外国人観光客にインタビューをしたこと。思ったように英語が話せず、悪戦苦闘しました。
- アイディアがなかなか出てこなかったこと。出てきても、ありきたりのアイディアで面白みがなかったこと。
- 提案された案が却下された時。何度も話し合いをする中で、一向に光が見えず、班の雰囲気が悪くなってしまったこともありました。



あなたは、その困難をどのようにして乗り越えましたか？

- 班で考えた抽象的な案を、具体的なものにすることです。鮎菓子を作るタイミングはいつか、どうやって鮎菓子を作るか、外国人観光客に鮎菓子の作り方をどう教えるかなど、細かいところを、一つ一つグループのみんなで検討しあい、具体化していきました。
- 自分だけで班の話し合いなどを進めてしまったと反省した後は、班員一人一人に聞いたり、報告の量を少なめにしたりしました。そうすると、自分が思うよりも、班のみんなが工夫して、いろいろと動いてくれることに気づきました。
- 班で話し合うために、インターネットなどでいろいろな情報を入力したうえで、自分たちに足りないことは何なのか考えた。
- 他のグループはどのように活動しているのかなども、参考にして活動した。



- その案の発案理由から見直し、具体性に欠けているところはないか、説得力に足るものかといった点について、**根本から見直す**ようにした。
- なるべく自分の意見を伝えるようにした。そして、みんなが納得できるように**何度も話し合った**。
- 同じことをしている仲間がいると思うと、励みになり頑張れました。

この1年間のSGH活動は、あなたにとってどのような意味がありましたか？

- 学校や家の外で起きている世界の様々な出来事や、課題について考える時間が増え、物事を客観的に見て考えることができたような気がします。
- フィールドワークなど、**初めて自分達だけで計画して、電話からした**のはとても良い経験になりました。また、様々な講演会などでも、自分のこれからの生き方にとってもプラスになる話が聞けたと思います。
- 言われたことを、ただやるのではなく、**自ら考え、行動する力を高める**良い機会でした。また、人とのコミュニケーションもSGHの活動を通して多くできました。
- **課題を見つけることの大変さ、またそれを解決するための方法を手探りで探すこと**の難しさを知ることができた。
- グループの仲間で行う上で、**リーダーの存在がいかに大切なもの**であるかを学んだ。
- 地域の行事や活動に興味を持つことができ、いろいろな視点から調べたり、関係者に話を聞きにいったりしたので、より深く自分の暮らす中濃地区のことを知るきっかけとなった。

さて、あなたにとっての今後の課題は何ですか？

- 英語を使って、自分がやるべきことを判断し、行動する力です。2年生になるとSGHグループ活動のプレゼンがすべて英語になるので、読む・聞く・書く・話すという英語の4技能すべてが必要になると思いました。
- みんなと一緒に、何かをやるのが私にとっては苦手だと思いました。つつい自分のペースで進めたくて、一人だけで動いてしまうけど、結局自分一人ではいいものを作ることはできなくて、周りのみんなに助けられることになります。だから、周囲の意見を聞いて、どうしたらより良い案になるのか、考えながらできるようにしたいと思いました。
- **積極的に動く**ことです。自分の役割を終えても、更にできることを見つけ、行動できるようになりたいです。そのために、周りをよく見ること・心配りをすることを心掛けます。
- **問題は何であるかを見つけること**、あるいはそれを見極めること。
- アイディアを生み出す**発想力**をつけたい。ニュースなどに対して、自分の意見を行けるようにすること。
- 計画的に物事を進めることが上手くできていない。仲間とかかわりながら、**地道にやっ**ていける力をつけること。

